

「いじめ緊急アピール」について  
～いじめを許さず、かけがえのない命を守るために～

いま、いじめにより児童生徒が自らの尊い命を絶つという痛ましい事件が相次いで発生していることは、極めて遺憾であり、児童生徒が自らの命を絶つというのは、理由の如何を問わずあってはならず、深刻に受け止めているところであります。

いじめについては、私は、今、児童生徒に、保護者に、学校の先生に対して、かけがえのない尊い命を守るため、強く訴えたいと思います。

まず、児童生徒のみんなへ

みなさんは、どんなことがあっても、自らの命を絶つことはあってはなりません。悩みごとや苦しいことがあっても、決して一人だけで解決しようとしてはいけません。人間はそんなに強いものではなく、一人で生きられるものではありません。困ったときは、決して自分の胸の中にとどめて悩みぬくことなく、保護者の方や先生、友人などに相談してほしい。悩みを打ち明けることは恥ずかしいことではなく、ぜひ相談する勇気を持ってほしい。必ず誰かが相談にのってくれるということを忘れないでほしい。

また、いじめている児童生徒たちに言いたい。弱いものをいじめることは絶対に許されないことである。軽い遊びやふざけだと思っているかもしれないが、あなたの言葉や態度が、人の心を傷つけ、苦しみを与えていることに気づいてほしい。

そして、いじめの場面を見た人は、勇気を出して「やめなあかん」と言ったり、先生に連絡したりしてください。

次に、保護者の方へ

どうか我が子の姿をよく見つめ、いじめに悩んでいるシグナルを発していないか、細心の注意を払ってください。子どもに寄り添い、子どもの声を聞き、子どもが相談できるようにしてください。どれほど、子どもたちがかけがえのないものかを伝えてください。また、他の児童生徒をいじめることがないように、いじめは絶対に許されないということを、家庭の中でも十分に話し合ってください。

最後に、学校の先生へ

いじめのない学校をめざしてください。深刻ないじめは、どの学校にも、どの学級にも、どの児童生徒にも起こりうるものであります。すべての先生が、一丸となって、いじめのない学校づくりに向けて、保護者の方や地域の方々にも協力を求めてください。いじめられている児童生徒を守り通すということを言葉と態度で示し、毅然と対応してください。特に、校長先生には、いじめは絶対に許されないこと、理由の如何を問わず死んではならないこと、必ず誰かに相談すること、繰り返し、直接児童生徒に訴え、学校のすみずみまで、児童生徒の心にまでいきわたるよう指導してください。そして、先頭に立ってこの問題の解決に最善の努力を傾けてください。

以上のようなお願いをする私も、いじめの問題解決に向けて、引き続き学校における指導の徹底、学校・家庭・地域が一体となった取組の充実など最大限の努力をする決意であります。